

生コン事業の歴史

戦前よりの貨物運送業として骨材セメント等の建材運搬をしておりましたが、1962年鹿島建設(株)様によるホテルマウント富士新築工事に骨材・セメント納入させて頂いたおり、これからは現場練りではなく、バッチャープラントの時代になりますとの御指導を頂き、1963



昭和46年12月当時の山中工場

昭和46年12月当時の
山中工場プラントとミキサー車



年4月に山梨県では2つ目となる生コンプラントを備えた山中工場を設置させて頂きました。(ホテルマウント富士は正面玄関のみプラント出荷、本体は現場練りです。)

同年にNHKプロジェクトXにも取り上げられました大成建設(株)様による富士山測候所建築工事の山頂コンクリート工事に参加させて頂きました。富士山頂への生コン搬入にはヘリコプター3機を使用するという今までにはない経験もさせて頂きました。(現場地鎮祭の最中に宮司様にコンクリートを上空より振り撒き、大変な御叱りを受けました。)

その後鹿島建設(株)様のご指摘の通り急速に現場練りからプラント出荷に変容し、当社も同年12月に大月工場を設置し、中央高速上野原笹子間、東名高速御殿場山北間のコンクリート納入をさせて頂きました。



創業当時の大月工場



開通直前の中央高速道路大月インター付近

現在本社山中工場は寒冷地の為ゼネコン研究所様に冬期コンクリートの実験プラントおよび海外の寒冷地におけるコンクリート、PC版製造の為の実験プラントとしても御利用頂いております。又、PC事業部において、PC部材の柱・梁等高強度コンクリート（120N/mm）、超軽量コンクリート（比重1.4）、高流動コンクリート、富士五湖が有る為水中コンクリートに至るまで大手ゼネコン・設計事務所様の御指導を頂いております。

近年は大月工場、都留工場は、中央道拡幅工事リニア実験線、静岡工場は、第2東名工事に生コンを納入させて頂いております。

2017年7月

株式会社タカムラ生コン